

令和元年度水道事業会計予算の概要

資料6

(1) 業務量

区 分 項 目	令和元年度 当初予算	平成30年度 当初予算	対前年度予算	
			差 引	伸び率(%)
年間総給水量(百万m ³)	173.5	171.3	2.2	1.3
給水戸(箇所)数(千戸)	811.2	806.5	4.7	0.6

※伸び率はm³、戸単位で計算

(2) 財政規模(税込額)

(単位:億円)

区 分 項 目	令和元年度 当初予算	平成30年度 当初予算	対前年度予算	
			差 引	伸び率(%)
収 益 的 支 出	352.4	353.5	▲ 1.1	▲ 0.3
資 本 的 支 出	152.5	133.8	18.7	13.9
合 計	504.9	487.3	17.6	3.6

※伸び率は千円単位で計算。

(3) 経営収支(税抜額)

(単位:億円)

区 分 項 目	令和元年度 当初予算	平成30年度 当初予算	対前年度予算		主な増減理由	
			差 引	伸び率(%)		
収 益	給 水 収 益	300.7	297.1	3.6	1.2	
	分 担 金	5.0	5.4	▲ 0.4	▲ 6.0	
	基金からの繰入金	3.0	3.0	-	-	
	受 取 利 息	1.4	1.4	0.0	▲ 3.1	
	一般会計繰入金 (阪 水)	0.1	0.2	▲ 0.1	▲ 26.4	
	長期前受金戻入	28.5	31.6	▲ 3.1	▲ 9.9	
	そ の 他 収 益	20.7	25.0	▲ 4.3	▲ 17.2	緊急時連絡管整備の完了に伴う受託工事収益の減 [注]
	特 別 利 益	0.2	1.4	▲ 1.2	▲ 87.2	土地の売却等の減
合 計 (A)	359.6	365.1	▲ 5.5	▲ 1.5		
費 用	人 件 費	59.5	60.5	▲ 1.0	▲ 1.6	職員数の減
	受 水 費	109.7	109.4	0.3	0.3	
	物 件 費	51.0	49.8	1.2	2.5	修繕費の増
	減価償却費等	103.5	102.3	1.2	1.2	資産減耗費の増
	支 払 利 息 等	5.4	5.8	▲ 0.4	▲ 7.0	
	繰 出 金	0.1	0.2	▲ 0.1	▲ 26.4	
	そ の 他 費 用	1.9	5.5	▲ 3.6	▲ 65.7	緊急時連絡管整備の完了に伴う受託工事費の減
合 計 (B)	331.1	333.5	▲ 2.4	▲ 0.7		
当年度損益(A)-(B)=(C)	28.5	31.6	▲ 3.1	▲ 9.9		
前年度末累積損益(D)	74.0	42.4	31.6	74.4		
当年度末累積損益(C)+(D)	102.5	74.0	28.5	38.5		

※伸び率は千円単位で計算。

[注] 「その他収益」には、民間社会福祉施設等の減免に対する他会計負担金を含む。

(4) 資本的収支 (税込額)

(単位：億円)

項 目	区 分	令和元年度 当初予算	平成30年度 当初予算	対前年度予算	
				差 引	伸び率 (%)
収 入	企 業 債	-	-	-	-
	固 定 資 産 売 却 代 金	0.3	2.1	▲ 1.8	▲ 84.2
	工 事 負 担 金	4.4	5.2	▲ 0.8	▲ 15.1
	国 庫 補 助 金	1.3	0.8	0.5	63.4
	施 設 増 強 負 担 金	-	0.1	▲ 0.1	▲ 100.0
	基金収入 (基金の運用益)	1.4	1.8	▲ 0.4	▲ 22.1
	基金からの繰入金	13.8	11.1	2.7	23.6
	一般会計繰入金	1.5	2.2	▲ 0.7	▲ 30.7
	雑 収 入	-	0.1	▲ 0.1	▲ 100.0
	そ の 他	0.2	0.2	0.0	▲ 27.2
	合 計 (A)	22.9	23.6	▲ 0.7	▲ 2.8
支 出	建 設 改 良 費	130.6	110.6	20.0	18.1
	基幹施設整備工事	28.4	28.3	0.1	0.4
	配水管整備増強工事	67.3	55.3	12.0	21.9
	開発団地施設工事等	34.9	27.0	7.9	29.0
	企 業 債 償 還 金	17.8	18.0	▲ 0.2	▲ 1.2
	基金への積立	1.4	1.9	▲ 0.5	▲ 24.3
	繰 出 金	1.5	2.2	▲ 0.7	▲ 30.7
	そ の 他	1.1	1.1	0.0	▲ 1.0
合 計 (B)	152.4	133.8	18.6	13.9	
収支差引(A)-(B)		▲ 129.5	▲ 110.2	▲ 19.3	▲ 17.5

※伸び率は千円単位で計算。

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額129.5億円は、損益勘定留保資金等で補てんする。

(5) 主要施策の概要(税込額)

(単位 百万円)

事 項	予 算 額	収益的支出	資本的支出	説 明
1 水道システムの最適化				
(1) 水 源	12,216	11,968	191	上ヶ原浄水場の再整備と受水量の最適化 上ヶ原浄水場再整備検討業務 阪神水道企業団からの受水 兵庫県水道用水供給事業からの受水
		3	—	自己水源の有効活用 ボトルドウォーター「神戸 布引溪流」
		1	40	千苺貯水池流域の水源涵養
		5	—	千苺貯水池の水質保全 水源地上におけるかび臭発生抑制方法の実証実験
		8	—	羽束川・波豆川流域水質保全協議会における取り組み
(2) 基 幹 施 設	3,570	—	2,365	人口減少社会に対応した計画的な更新 配水池の統廃合・ダウンサイジングの実施
		1,205	—	省エネルギー対策・循環型社会の形成に向けた取り組み
(3) 配 水 管	6,658	48	6,610	配水管網再構築計画の推進 (P5)
(4) 給 水 装 置 お よ び 貯 水 槽 水 道	70	4	—	貯水槽水道の適正な管理の確認の強化
		21	—	宅地内における鉛管, 老朽給水管への対応
		45	—	サポート体制の充実 水道修繕受付センターの運営等
(5) 水 質 の 管 理	172	59	113	水質管理の徹底 適切な水質での水道水の供給

2 災害への備え				
(1) 災害に強い水道施設の整備	6,939	9	21	津波対策 水管橋の点検・補修
		9	6,758	耐震化の推進 配水池等の耐震化 重要施設へのルートの耐震化
		—	142	安全性調査と対策工事の実施（P5） 土砂災害対策
(2) バックアップ体制の強化	1,551	—	1,551	バックアップ体制の強化（P6, 7） 配水区域間連絡管等整備 北神地区送水施設の再整備 等
(3) 市民とともに築く災害対策	62	1	61	市民とのリスクコミュニケーションの強化 災害時臨時給水栓の整備 貯水機能のある災害時臨時給水拠点の再整備
3 経営の持続				
(1) 経営基盤の強化	13,047	1,095	—	公民連携のさらなる推進
		11,952	—	受水費の負担軽減 阪神水道企業団からの受水 兵庫県水道用水供給事業からの受水
(2) 人材の確保・育成と社会貢献	8	4	—	人材育成と技術の継承
		3	—	水国際貢献事業の推進, 海外との人的ネットワークの構築
		1	—	震災経験の情報発信と被災地支援への取り組み
(3) 水需要減少社会における料金体系の検討	1	1	—	水需要が減少する時代の料金体系の検討
4 広報とコミュニケーションの充実・強化	79	16	—	多様な広報・水道サポーターとの協働（P8） こうべアクアサポーター制度の推進 等
		61	—	豊かな水文化の醸成に向けた「水育」の展開
		2	—	「AQUAルネッサンス神戸」による新たな価値創造 お風呂の良さを市民に伝えていく取り組み

災害への備え

大震災の記憶をつなぎ、あらゆる危機に強い水道をともに築きます。

災害に強い水道を目指すため、被災直後の応急給水を目的とした「緊急貯留システムの整備(平成25年度完成)」、早期通水等を目的とした「大容量送水管の整備(平成27年度)」、被害の軽減・早期復旧を目的とした「配水管の耐震化(継続実施中)」に取り組んできました。

また、近年多発する豪雨等による土砂災害対策として、優先度や必要性に応じて、順次水道施設の土砂災害対策を行います。

配水管

40.1 km

5,498 百万円

高度経済成長期に布設した大量の配水管が更新時期を迎えることから、配水管の更新ペースを段階的に増加させ、令和元年度には、40km/年にペースアップを図ります。

なお、更新にあたっては耐震化を図るとともに、水需要の減少を勘案した配水管のダウンサイジングを図る等、配水管網の再構築を推進します。

さらに幹線道路等の事故発生時の影響が大きい路線についても、関係部局との協議を進めながら、更新を行います。

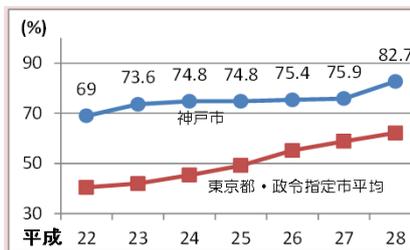
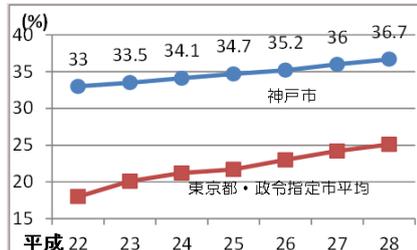


耐震補強金具

【管路耐震化率の推移】

◆参考データ◆

【配水池耐震化率の推移】

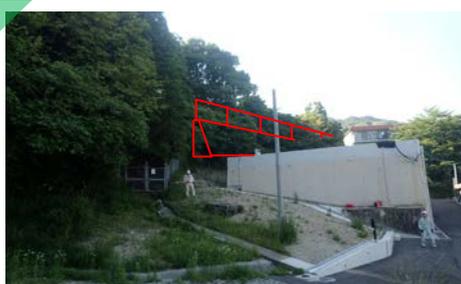


土砂災害

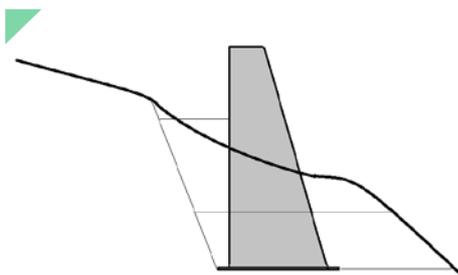
1箇所 65 百万円

土砂災害防止法に基づき、兵庫県により、「土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)」の指定が行われました。この指定に伴い、平成29年度からイエローゾーン内に位置する水道施設の土砂災害対策の検討を行ってきました。

引き続き、現状の安全性を確認した上で、計画的に必要な対策工事を実施します。



赤塚山特1高層配水場【令和元年度施工予定】



【イメージ図】土砂災害対策工法

災害への備え

大震災の記憶をつなぎ、あらゆる危機に強い水道をともに築きます。

基幹施設における事故等に備え、市民への影響を最小限に留めるために、基幹施設の複数系統化を計画的に実施します。

市街地送水施設の連絡(奥畑妙法寺連絡管整備)

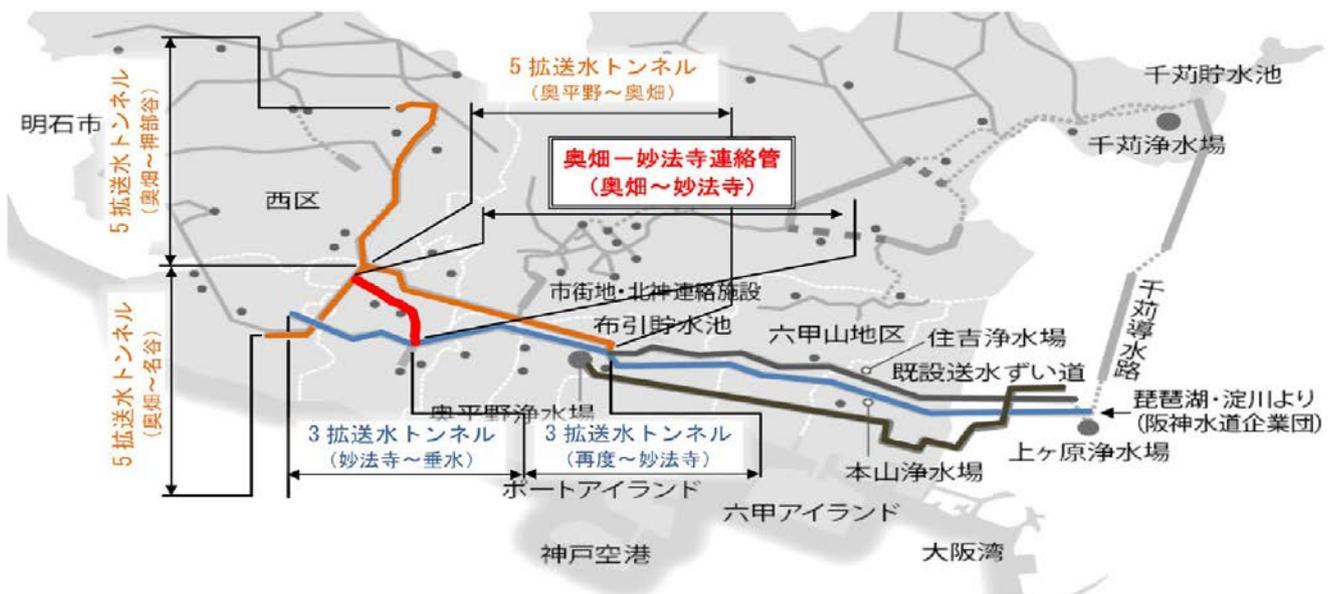
債務負担行為(令和元年度～令和5年度) 総事業費 **6,967** 百万円

市街地の西部(奥平野浄水場以西)については、基幹的な送水施設である2本の送水トンネルが単独で機能しています。

そのため、2本の送水トンネルを連絡することで、基幹的な送水系統の多重化を図り、送水の安定性を高めます。(令和5年度完成予定)



【イメージ図】シールド工



北神地区送水施設の再整備

807 百万円



有野ポンプ場(令和元年度ポンプ設備新設予定)

北神地区については、千苺浄水場系の事故に対応するため、阪神水道系でも送水が可能になるように整備を進めています。

有野・有馬地区方面の給水の安定性の確保を図るため、平成25年度から有野・有馬間の送水設備の管路及びポンプ場の整備を行っており、引き続き、北神地区の2系統化を図ります。

災害への備え

大震災の記憶をつなぎ、あらゆる危機に強い水道をともに築きます。

水道水の供給に重要な役割を果たす基幹施設の多くは、昭和40年代から昭和50年代にかけて、都市の発展に合わせて、整備されたため、経年化が進んでいます。

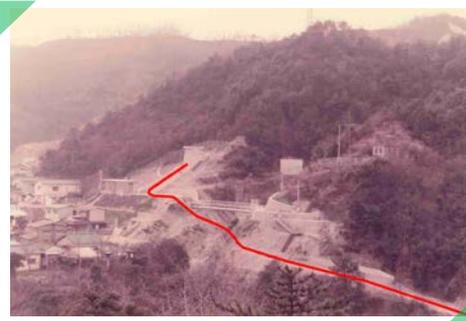
基幹施設が使用不能となった場合には、広範囲にわたる断水や断水期間の長期化など、市民生活に大きな影響を及ぼす可能性があることから、バックアップ施設の確保と併せて、計画的に更新を行います。

板宿ずい道トンネル配水池改良工事

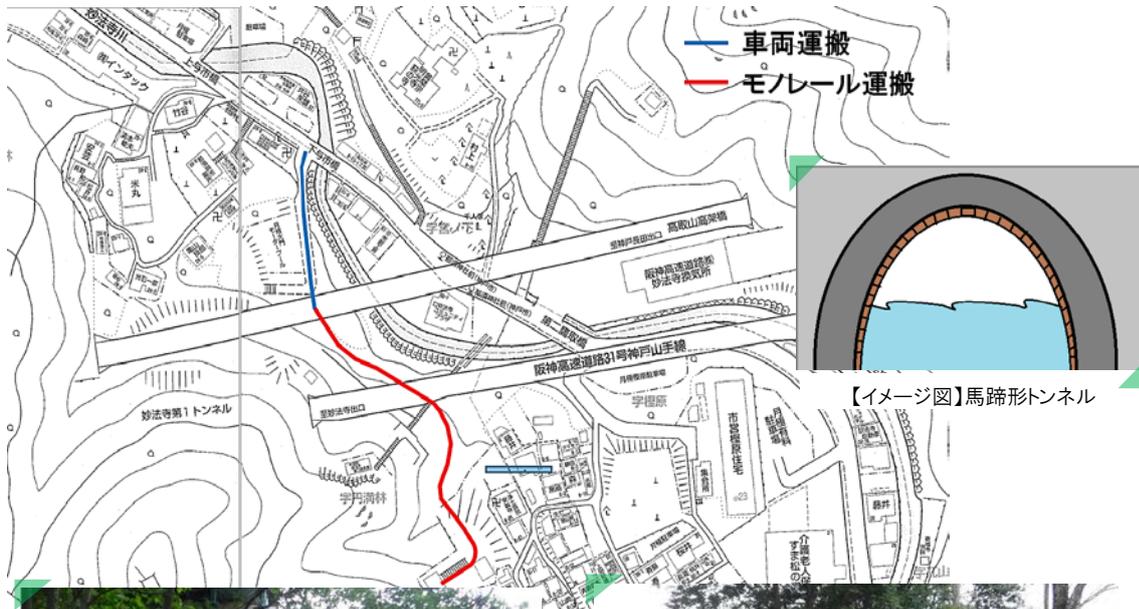
債務負担行為(令和元年度～令和3年度) 総事業費 **903** 百万円

板宿ずい道配水池は昭和51年度に竣工した送水機能と配水機能の両方を有する重要な基幹施設になっています。

しかし、40年以上経過していることから、トンネルの底部を補強・改良するなどの工事を実施します。板宿ずい道トンネル配水池は、須磨区板宿町から全長1,295mの馬蹄形トンネルです。(令和3年度完成予定)



板宿ずい道配水池竣工



【イメージ図】馬蹄形トンネル



実際のモノレール区間



工所用モノレール

広報とコミュニケーションの充実・強化

市民の財産である神戸の水道について、語り合い、水道の未来を共創します。

市民生活や都市活動に欠かすことができないライフラインであり、市民の財産である神戸の水道を守り続けるため、利用者である市民の皆さまと課題を共有していくことが不可欠だと考えています。

そのため、経営情報の積極的な開示や生活に役立つ広報などの「市民ニーズや事業展開に適応した情報発信」、市民の関心に応じた広報・コミュニケーションの推進などの「ともに考え・創り・伝える神戸の水道」、水に関する教育「水育」の展開などの「地球にやさしい豊かな水文化の醸成」に取り組みます。

市民ニーズや事業展開に適応した情報発信

8 百万円

《こうべアクサポーターとの協働》

平成30年度に協働で作成した「水道料金のつかいみち」を活用した広報等、共に情報発信を行うとともに、イベント等でもご意見やお手伝いをいただき進めていきます。

《幅広い世代への広報》

子ども向けリーフレットやHPを活用した広報等を行い、子どもから大人まで幅広い世代に学んでいただける情報発信を行います。



パンフレット
「水道料金のつかいみち」

イベントでの
こうべアクサポーターの様子



子ども向けリーフレット
「みんなで守りたい
すいどうのこれから」

子ども向けホームページ「みずトピア」

ともに考え・創り・伝える神戸の水道

3 百万円

水道週間イベント 「チャレンジ！ウォーターミッション」



水道水を飲む様子



日本水道協会のPRポスター

市民の関心に応じた広報として、昨年度も好評であった、「水質検査」や「漏水調査」など親子で取り組んでもらえる体験型のイベントを開催します。

また、イベントでの水の飲み比べ等を通して、安全でおいしい水を実感してもらい、水の利用促進を図ります。